

次の①～⑤の基準を満たした方を修了と認定します

- ① 全日程に出席
- ② 当セミナー期間中に可能思考セミナー-SGA 目標実現コース*第1講までを受講すること

第1講の時点で、可能思考セミナー SGA 目標実現コース(PSV・PSS・LT)*を修了している場合、当セミナー期間中に次のいずれかの条件を満たしてください
※マネジメント養成6か月コース申込日から第1講までの受講についても有効

- ④ 可能思考セミナー-SA 自己成長コース アシスタントに参加【無料】
- ⑤ 可能思考セミナー-SC 自己実現コース アシスタントに参加【無料】
- ⑥ 社長と幹部が学ぶリーダーシップ・フォローアップ1日セミナーを受講【有料】

可能思考セミナーを健康上の理由で受講できないと日創研が判断した場合、当セミナー期間中に次の条件を満たしてください

※マネジメント養成6か月コース申込日から第1講までの受講についても有効

- ④ 社長と幹部が学ぶリーダーシップ・フォローアップ1日セミナーを受講【有料】

- ③ 定められた期日までに必修文献レポートを提出(指定文献1冊【有料】)

- ④ 定められた期日までに全ての宿題を提出

- ⑤ 「幹部社員評価」の実施

※2020年1月から「PSV目標実現コース」は「SGA 目標実現コース」に名称変更します。
※月刊「理念と経営」を使用しますので、セミナー期間中はご購読いただきます。
※上記基準のうち【有料】の記載がある項目は別途、費用がかかります。

福岡研修センター
〒812-0013 福岡市博多区
博多駅東2-8-27 博多駅東バネビル5F
TEL(092)475-1466
FAX(092)482-8392

申込FAX (0120)021-746

広島営業所
〒730-0013 広島市中区
八丁堀10-14 八丁堀マエダビル5F
TEL(082)502-6281

申込FAX (082)502-6282

東京研修センター
〒136-0076
東京都江東区南砂2-2-7
TEL(03)5632-3030
FAX(03)5632-3051

申込FAX (0120)938-321

札幌研修センター
〒001-0010 札幌市北区
北十条西3-13 NKエルクビル2F
TEL(011)729-2141
FAX(011)729-2145

申込FAX (0120)021-735

お申込み

パソコン スマートフォン

ホームページ <https://www.nisouken.co.jp/>

FAX 下記の申込書をご記入の上
ご受講される会場宛にお送りください



参加要領

■受講対象：経営者・経営幹部・幹部候補・管理職

■セミナー報告書について：本セミナーはご派遣いただいた上司(経営者・セミナー担当者)の皆様にセミナー報告書をお送りしています。申込書に送付の可否と送付先情報をお知らせください。
※受講者本人が社長(セミナー担当者)の場合は不要です。

■ご案内：セミナー当日のご案内や資料はメールでお送りします。ただし、必要に応じて、お電話・郵送・FAXをさせていただきますことでもあります。

受講料: (税込)	オーナー会員	一般
1名	256,300円	282,700円
2名	235,400円/名	261,800円/名
3名以上	210,100円/名	236,500円/名

再受講の方は、受講料から1名につき25,300円割引します。

※オーナー会員のTT特典を振替えて受講いただけます。
※お申込み受付後、請求書をお送りいたします。(振替の場合、請求書はお送りしません)
※恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。
※受講者ご本人様の都合により受講を中断された場合、受講料の返金はいたしかねます。

※コンサルティング業関連・セミナー教育業関連等、同業の方の参加はご遠慮ください。
※セミナー中の撮影・録音・パソコンの使用は、お断りさせていただきます。
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
※暴力団関係者(準構成員等も含む)・暴力団関係企業・団体、その他反社会的勢力に属する方の参加はご遠慮ください。
※自然災害などにより、開催日の変更や中止を行う場合があります。

**メールアドレスご記入の際
ご注意ください**

個人のメールアドレスをご記入ください。
代表アドレスや役職アドレスは登録できません。
(例:info@[postmaster@[ceo@]])

マネジメント養成6か月コース 申込書

申込日 年 月 日

ご受講会場を○で囲んでください

福岡	広島	東京	札幌
----	----	----	----

申込区分 オーナー会員 一般
[TT振替 振込]

振込予定日 月 日

TEL

FAX

参加状況 初受講 再受講

フリガナ 役職

氏名 E-Mail [必須]
※個人のメールアドレスを記入してください(すでに登録済みの方は不要です)

報告書送付の可否 送付する 送付しない
送付先情報 E-Mail [必須]
※個人のメールアドレスを記入してください(すでに登録済みの方は不要です)

「個人情報のお取り扱いについて」～下記の内容に同意の上、お申込みください～
○本セミナーにお申込みの際に、お客様より頂きました個人情報は、日創研グループ(株)日本創造教育研究所・(株)コスモ教育出版・(株)CODコンサルタント)および全日本マネジメントコーチング協会のサービス内容のご案内に利用させていただきます。
○お客様から頂きました個人情報に関して、修正、利用停止、削除などの必要が生じた場合、ご本人様から直接ご連絡頂くことにより、適宜、ご要望に沿った対応をさせていただきます。
○日創研グループおよび全日本マネジメントコーチング協会は、ご案内の発送業務において、契約している委託業者に、当グループが保有する個人情報を開示することがあります。これらの契約業者とは機密保持契約を締結しており、当該業務以外の目的で情報を使用することを禁じています。

企業経営の3大マネジメント機能を強化

マネジメント養成
6か月コース



仕事

効率性
効果性
売上・コスト
コミュニケーション

人

採用
育成
評価・面談

組織

チームワーク
コラボレーション
エンゲージメント

マネジメント養成6か月コースでは、生産性を高め、働く人々の喜びを実現するため、「仕事」と「人材」のマネジメントについて学びます。環境変化に合わせた仕事の改善・改革や、結果をつくる人材の育成方法など、管理職に必要なスキルや知識を身につけることができます。

社長または直属上司の皆様へ
第1講1日目 13:00~15:00
セミナー効果をさらに高めるため、オリエンテーションに同席いただけます! 受講生と同じ人数まで無料でご参加いただけます。

【2020年 セミナー開催日程】 1日目 13:00 ~ 19:00 2日目 9:00 ~ 18:00

	第1講	第2講	第3講	第4講	第5講	第6講
福岡	1月28日(火) 29日(水)	2月19日(水) 20日(木)	3月23日(月) 24日(火)	4月20日(月) 21日(火)	5月19日(火) 20日(水)	6月22日(月) 23日(火)
広島	1月30日(木) 31日(金)	2月26日(水) 27日(木)	3月30日(月) 31日(火)	4月27日(月) 28日(火)	5月25日(月) 26日(火)	6月24日(水) 25日(木)
東京	2月17日(月) 18日(火)	3月16日(月) 17日(火)	4月23日(木) 24日(金)	5月21日(木) 22日(金)	6月18日(木) 19日(金)	7月 7日(火) 8日(水)
札幌	4月14日(火) 15日(水)	5月14日(木) 15日(金)	6月11日(木) 12日(金)	7月14日(火) 15日(水)	8月18日(火) 19日(水)	9月10日(木) 11日(金)

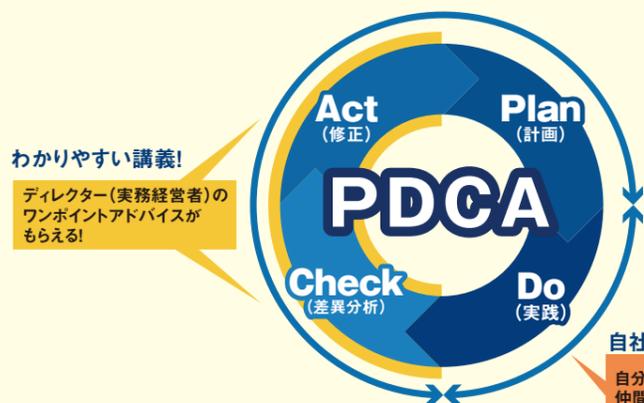
※福岡 第2講が日程変更になりました。 ※札幌 第4講・第5講が日程変更になりました。





仕事のマネジメント PDCAサイクルを学び習得する

マネジメントの基本はPDCAサイクルをまわし、成果を出すこと!



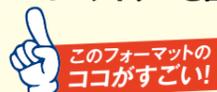
わかりやすい講義!

ディレクター(実務経営者)の
ワンポイントアドバイスが
もらえる!



日創研オリジナル
PDCAフォーマット

日創研オリジナルの
PDCAフォーマットを使用し、
PDCAサイクルを習慣化します。



- ①理念→方針→目標→計画→行動の
一貫性が視覚化でき、浸透が図れる
- ②PDCAのどこが課題かが明確にわかる
- ③計画的に行動する習慣が身に付く
- ④行動計画が共有化される
- ⑤目標達成能力が高まる

自社で実践!

自分だけでは続けられないことも、
仲間と助け合い、乗り越えられる!



人のマネジメント 人材育成能力を高める

人を育てる能力の課題を克服する

教育体系図を作成する

自社が取り組んでいる社員への教育を、体系図として
まとめます。社員教育の重要性・今後の方向性を学び
ます。

部下と効果的なコミュニケーションをとる

講義で面談の目的やり方を学び、職場で部下との面
談を行います。人材育成の具体的な方法を学びます。

自らの部下指導能力を診断する

部下指導に必要な能力を、実習を通して学びます。そ
の後の診断で、どの能力をどう高めていくかを学び
ます。

理想の社員像を明確にする

自社が求める理想の社員像を明確にします。人材育成
する際の基準が明確になり、自社に合った人材を育成
することができるようになります。



組織のマネジメント 組織を強くする

組織を効果的に機能させる能力を高める!

チームワーク

お互いの弱点を補い合い、強みを高め
合うことで組織としてのパワーが生まれ
ます。うまくチームワークを取り入れてそ
の力を発揮することができれば、仕事
の効率化や課題のクリアなど、さまざま
なメリットが期待できます。



コラボレーション

時代の変化への対応、企業の活性化
のために大変有用です。
普段は触れることのない異質な存在と
交わることによって、価値の創造や革
新的な発想が生まれます。



エンゲージメント

エンゲージメントとは、「愛着心」のこ
とです。信頼関係を深く築いていくこと
によって、社員が定着するようになり、自
然と業績も向上します。



マネジメント能力の底上げが急務!!

セミナーカリキュラム

第1講

管理者(経営者・幹部)が学ぶ マネジメントの基本とPDCAサイクル

- オリエンテーション(マネジメントセミナーの仕組みと目的)
- PDCAサイクルとマネジメントの4大要素(必要能力)
- マネージャーの最重要資質とコミュニケーション能力
- 経営方針と我が社の現状分析(強み・弱み)
- 月次方針と業務計画書・月次業務報告書の作成の仕方

第4講

戦略的方針書の作成のポイント・ 先行管理と進捗管理

- 経営戦略とは
- 全社年度方針と部門方針のつくり方
- SWOT分析
- 先行管理とは
- 方針管理と阻害要因の排除
- 方針管理を行う管理者の役割と責任
- 幹部社員評価



第2講

リーダーシップと意思決定

- リーダーシップの4要素と
リーダーシップスタイル
- 部下のやる気を高める動機づけ理論
- 会議は最高意思決定の場である
- マネジメントと意思決定のプロセス
- PDCAサイクルと進捗管理の在り方



第5講

成果を創り出す人と 組織のマネジメント

- 組織開発のマネジメント
- 組織の定義・組織成立の3要素
- 個人と組織の活性化は管理者の器量で決まる
- 組織(個人)における3つの機能
- 生産性の上からない組織の問題
- 部下に対する期待像の明確化



第3講

人材育成の教育法と OJT・OFFJT教育カリキュラムのつくり方

- 人材育成を行う3つの教育形態
- 部下指導・育成に求められる管理者の資質
- 教育計画(キャリアプラン)作成の具体的な手順
- 教育セミナー体系図のつくり方
- 人材育成と教育環境

第6講

企業成長発展のための 管理者(経営者・幹部)マネジメント能力

- マネジメントの本質
- 管理者に求められる能力
- 人材育成をする上司の資質
- リスクマネジメントの概念
- 時間のマトリックス
- 企業の改革に誰を選ぶのか
- 管理者の使命とは



受講生の声



株式会社シマブ
代表取締役
島 信英 様
製造業
(福岡県)

セミナーに参加されたきっかけを教えてください。
一社会人として自身のマネジメント能力不足を実感して
おり、今後の幹部社員育成のためにも、まずは私が受
講し、能力を向上させようと思参加を決めました。

どんな気づきや学びがありましたか?

社員さんのビジョン達成のために、私の本気度と知識
が不足していることに気づきました。また、経営理念に
沿った事業計画、キャリアアッププラン、人事制度などの
仕組みづくりと、業績向上の両立の重要性を学びまし
た。

自分自身や会社にどのような変化がありましたか?

社員さんと私のコミュニケーションが向上しました。そ
れにより、社内に活気、明るくなったように感じます。
また、業務スピードがアップしたことにより、業績が向
上しました。社員さんが輝き、活躍する会社づくりに邁進
し、ビジョン達成と業績向上を実現します。



株式会社
ロイヤルコーポレーション
取締役
沼田 信治 様
飲食業・不動産業
アミューズメント業
農福連携事業
(埼玉県)

セミナーに参加されたきっかけを教えてください。
企業内教育インストラクター養成コース(TT)を受講
中から次はこのセミナーに行こうと決めていました。学
びの継続とTTでの学びを日常に落とし込み、成果を出
したいという思いで参加しました。

どんな気づきや学びがありましたか?

マネジメントとは、「人に関心や愛情を持って関わり経
営をすることである」と学びました。そしてPDCAサイ
クルを回し、決めたことを決めた通りに実行して成果につ
なげることが大切だと気がつきました。

自分自身や会社にどのような変化がありましたか?

セミナー前と比べて社内の指示命令系統が整理され
てコミュニケーションが円滑になりました。
また、セミナーの経営会議で学んだ「会議の進め方」
を基に会議の内容が良くなりました。今後もPDCAサイ
クルを回し、このセミナーでの学びを社内で共有し、よ
い会社づくりに取り組みます。